

# チャレンジとくしま芸術祭 2016

CHALLENGE TOKUSHIMA ART FESTIVAL

様々な表現活動を行っている人や、あこがれを持っている人たちに、ひろく活動発表の場を提供し、未来へ羽ばたく徳島発のアーティストを発見・支援しようという「フリースペース チャレンジとくしま芸術祭」。今年で7回目となるこの芸術祭は、去る1月19日から31日までの間、県立近代美術館を会場に、絵画、彫刻、工芸、写真などの「展示部門」と、音楽、ダンス、朗読、芸能などの「パフォーマンス部門」の二部門で開催されました。出品・出演されたのは、公募と抽選で選ばれた徳島県出身または在住の皆さん。年齢も経験も問わず、事前の審査もないことから、老若男女、初心者からプロ級までの才能豊かでユニークなアーティストたちが集まりました。展示部門は約5mの壁面、パフォーマンス部門は15分以内、という条件でグランプリを巡って競いあい、厳正な審査の結果、受賞者が決定。そして、このたび受賞者の皆さんによる「受賞者発表会」を開催します。さらにパワーアップした受賞者の作品をお楽しみ下さい。

## 受賞者・受賞作品のご紹介

### 展示部門 EXHIBITION

参加者数40組(応募数52組)  
参加者説明会・公開抽選会(2015年11月8日)において、抽選により決定。

3月12日[土]13日[日]

9:30~17:00(13日は16:30まで)  
徳島県立近代美術館ギャラリー

#### 審査員(順不同 敬称略)

河原崎貴光(徳島大学大学院准教授)  
鈴木 良治(画家)  
大和たきみ(フリーアナウンサー)  
小林 功(徳島県立近代美術館長\*審査委員長)  
森 芳功(徳島県立近代美術館企画交流室長)



展示部門  
グランプリ

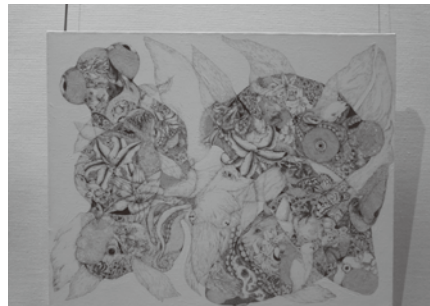
#### はなのようこ 【絵画・インスタレーション】

初参加。割れた鏡を使った試みだが、効果的な印象を生み出しました。

[受賞理由]  
画面中に鏡を用い、絵を見ると鏡が見えず、鏡を見ると絵が見えないという装置としての面白さがある点、平面の中に空間表現がある点など、多様な視点があるところを評価した。



with you 2015-2016年 ペニア板、アクリル、鏡など

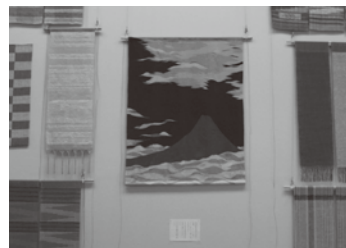


#### 準グランプリ ハラダサキ【細密画】

初参加。繊細な表現をじっくり見ていると、しだいに世界が広がります。

[受賞理由]  
描き込みと技術にインパクトがあり、今後も「さがす」という自分で見つけたテーマを追求して欲しいと思わせた。

さがしえ 2012 2015年  
キャンバス・鉛筆

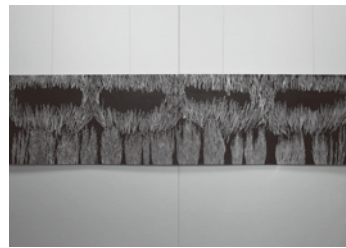


#### チャレンジ奨励賞 穴山 千代子【手織】

前回は二人組でしたが、今回は一人での挑戦。地道な作業が光ります。

[受賞理由]阿波和紙を使った繊細な仕事で、織りや色が美しく、今後も見ていきたいと思わせた。

阿波紙&富士 2015年  
さをり糸、阿波和紙

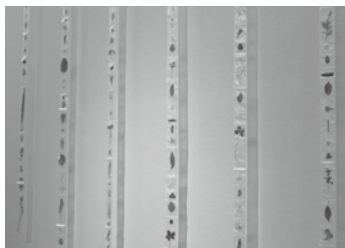


#### チャレンジ奨励賞 杉本 悠希【絵画】

初参加。ネガである木版画の版をボジの作品として提示してみようという反転のアイデアが独自の絵画を生み出した。

[受賞理由]コンセプトの作品への落とし込み、彫刻刀の線がつくる雰囲気、視点の楽しさなど、注目点が多く、今後も継続的に作品を見ていきたいと思わせた。

ロックフェスティバル 2015年  
木彫画、シナペニア、墨汁

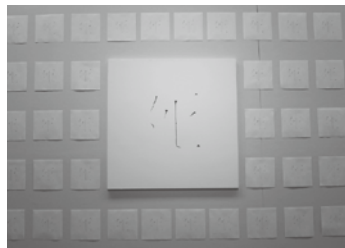


#### チャレンジ奨励賞 まるおかあきこ 【ミクストメディア】

個人としては4回目の参加で初受賞。毎日の日常的な作業の蓄積で自然と時間にアプローチしています。

[受賞理由]美しい空間を作ったという点では群を抜いており、展示空間の構成の綺麗さを評価した。

日分包 -2015.8~2016.1- DAY WRAPPING BAG  
2015-2016年 ビニール袋、糸、葉、羽、種、実など



#### MIP賞 永田 広志【絵画】

初参加。ミニマルな構成と薄いペーパーによる透明感のある画面の隙間から哲学的な思考へと射程を伸ばしているようです。

[受賞理由]最低限の構成要素で、最も印象に残った作品である。

碑について 2015年  
木製パネル、ジェッソ、油性マーカー、紙

## 賞の種類

#### グランプリ[部門ごとに各1組]

挑戦の度合い、表現の質の高さ、将来性などの総合力がもっとも認められるもの

#### 準グランプリ[部門ごとに各1組]

#### チャレンジ奨励賞[展示部門は3組まで、パフォーマンス部門は2組まで] 該当者のある場合のみ

#### MIP(モーストインプレッシブプレイヤー)賞[部門ごとに各1組] 該当者のある場合のみ

最も印象に残ったと認められるもの

### パフォーマンス部門 PERFORMANCE

参加者数17組(応募数20組)  
参加者説明会・公開抽選会(2015年11月8日)において、抽選により決定。

3月13日[日]

13:30開場 14:00開演(16:30終演予定)  
徳島県立二十一世紀館イベントホール  
途中入場が可能です。

#### 審査員(順不同 敬称略)

山口 雅人(株式会社エフエムびざん プロデューサー)  
佐藤 憲治(地域文化コーディネーター)  
加藤 十(イベントプランナー)  
中瀬 敬一(文化の森振興本部長・徳島県立二十一世紀館長\*審査委員長)



#### 準グランプリ たけと愉快的仲間たち【ビッグバンドジャズ】

前回のグランプリに続く受賞。皮膚感覚に訴えるような振動や、阿波踊りとのコラボは迫力満点です。

[受賞理由]  
ビッグバンドによる演奏の迫力は圧巻だった。ビッグバンドでは通常用いないマーチングの要素を取り入れることで音圧が変わり、様々な楽器の音色を際立たせていたことが良かった。

たけと愉快的仲間たち



喜多武術培训中心

#### チャレンジ奨励賞 喜多武術培训中心 【陳氏太極拳】

5回目の参加で初受賞。ストレートに技を見せる静と動の演舞の緊張感に息をのみました。

[受賞理由]ほとんどの出演者たちが何らかの形で音を用いている中で、音を排し、演舞だけで見せる技量が見事で引き込まれた。



内藤 一典

#### 審査員特別賞 今回特別に授与されました。 内藤 一典 【創作舞踊】

初参加。キレのよい動きや、さりげない動作にも軸のぶれない立ち居振る舞いが魅力的です。

[受賞理由]沢田研二の「サムライ」の曲の解釈を創作舞踊にシンクロさせる巧みさがあった。独自の和風コンテンポラリーダンスの世界を表現していた。

#### 展示部門

2016年1月19日(火)~31日(日)  
徳島県立近代美術館展示室3

#### パフォーマンス部門

2016年1月24日(日)  
徳島県立近代美術館ロビー

#### 表彰式

2016年1月31日(日)15:00~  
徳島県立近代美術館ロビー



パフォーマンス部門  
グランプリ

#### 徳島市立高校ダンス部 【ダンス】

3回目の参加。前回のチャレンジ奨励賞に引き続いての受賞。グループとしてのまとまりの良さをアピールしました。

[受賞理由]  
楽しそうなダンスの中にキレが感じられ、そこに練習の成果が見られた。ダンス時のフォーメーションや衣装・音とパフォーマンスのマッチングにそれぞれが努力して見せることへの工夫が現れていた。



徳島市立高校ダンス部

#### チャレンジ奨励賞

笑門亭 田楽

#### 【講談】

2回目の参加で初受賞。ひたむきで実直な芸が心に届きます。

[受賞理由]観客との独自の絡みを見せることから始まる演目の構成が素晴らしい。日本の言葉に対して強い関心を持って取り組んでいることが印象に残った。



笑門亭 田楽

#### MIP賞

新田 千恵子

#### 【立体紙しばい】

2回目の参加で初受賞。シンプルな仕掛けとよく通る声の魅力が、目には見えない物語の時間と空間を立体的に伝えてきました。

[受賞理由]手作り感に溢れる背景幕や人形のデザインが独自のものだった。舞台制作のプロセスから見せるのは斬新であり、自分の世界を作り上げたパフォーマンスがとても印象的だった。



新田 千恵子

